博物館だより 8.15 66



博物館まつり 2015 閉幕、そして休館へ…。

平成27年5月17日(日)、博物館まつりが開催さ れました。平成25年までは毎年3月末に博物館さく ら祭りを開催してまいりましたが、この時期は市内各 地でさくら祭りが開催されており、博物館の所在する 広見公園でも広見地区によるさくら祭りが盛大に開催 されることから、平成26年から5月の第3日曜日に 博物館まつりを開催しております。

広見公園のバラ園が見ごろとなる5月中旬は天候 も安定し、市内外から沢山の方が訪れます。ちなみに、 広見公園のバラ園には約2000株、176種類のバラが 植えられており、市内最大、県内でも第7位の規模を 有しているので、無料ということもあいまって Web 上で話題となり、人気スポットとなっております。こ のような訳で博物館まつりを桜からバラの時期へシフ トした次第です。

当日は、公園の中央広場をメイン会場とし、博物館

本館や歴史民俗資料館、公園内歴史ゾーンの古民家、 工芸室などを会場に、展示案内や、利用団体による陶 芸・型染・和紙工芸・葉彩画・各種工芸の体験や販売、 探検ラリー、バザー、おんがく会、ミニトレインの乗 車体験、無線体験、紙芝居、各種クラフトの展示・販 売などを、約30団体の参加により賑やかに開催いた しました。天候にも恵まれ、バラの香りに誘われ、延 べ約7,500人のお客様が訪れ、大盛況でした。

なお、博物館はこの日をもって、耐震リニューアル 工事のため、平成28年4月末までの休館に入りまし た。来年のゴールデンウィークにはリニューアルオー プンした新しい博物館を御観覧いただくこととなりま すが、これまでの常設展示の見納めの日とあってか、 本館展示をじっくりと御観覧されていく方々も見受け られました。私も、これまでの展示に「長い間ごくろ うさん」と心の中で念じた次第です。(館長 木ノ内義昭)







富士市立博物館出張展示事業 富士かぐやモバイルミュージアム

平成 27 年 7 月 18 日~平成 28 年 3 月 31 日 (注1)

耐震リニューアル工事のため現在休館中の博物館本館にかわり、富士の歴史や文化を今まで以上に多くの方々へ発信することを目的として、市内各所を巡回する出張展示を企画しました。

お話の最後でかぐや姫が富士山へ昇っていく独特なストーリーを、歴史的な絵画資料や富士山信仰にまつわる資料から紐解き、かぐや姫伝説が富士地域に伝わった背景へと迫ります。特に、全長8m以上におよぶ『富士山大縁起』(元禄10年【1697】)実物大全文パネルは初公開となりますので、富士山のかぐや姫伝説を原文でお楽しみいただくことができます(註2)。

展示はグラフィックパネルが中心ですが、展示会場によっては国内外の竹取物語の本や、『東海道名所図 会』などの実物資料も展示します。富士山のかぐや姫 伝説を極めたい方は、ぜひとも全会場コンプリートを めざして足をお運びいただければ幸いです。

(藤村翔)

- (1) 巡回する会場と会期の詳細については、4頁をご参照ください。
- (2) 会場によっては、部分展示となる場合があります。



富士かぐやモバイルミュージアム 展示告知フライヤー



富士市立博物館リニューアル記念プレシンポジウム

富士山とかぐや姫~そのつながりを探る

平成 27 年 11 月 14 日 (土) 13:00~17:30

リニューアル後の富士市立博物館には、展示の目玉の一つとして、富士山とかぐや姫のつながりをご紹介する展示室が新たに誕生します。この展示室では、富士山の由来や、富士山にまつわるさまざまな伝説をまとめた「富士山縁起」という資料に記されていたかぐや姫の物語を取り上げます。広く知られている竹取物語では、かぐや姫は月へ帰ってしまいますが、富士山縁起の中では、かぐや姫は月ではなく、富士山の洞穴へ入り、富士山の祭神となるのです。

このようなかぐや姫の物語をとりあげた「富士山縁起」は、さまざまな時代・場所で作られていますが、その中のいくつかが、市内今泉に存在した「富士山東泉院」という寺院に伝来していることが、最近の調査で明らかとなりました。そして、富士山とかぐや姫の物語は、東泉院という寺院だけにとどまらず、地域へ定着し、独自のストーリーとして現在へと受け継がれているのです。

富士山とかぐや姫はなぜ結びついたのか、そして、そのストーリーがどのように広がっていったのか、その謎を明らかにするために、富士山縁起やかぐや姫に関する第一線の研究者をお招きして下記のシンポジウムを開催します。多くの皆様のご来場をお待ちしています。 (井上卓哉)

- ■料金 200 円 ■定員 150 名 (先着順)
- ■会場 富士市役所消防庁舎 7 階 大会議室
- ■申込 博物館へメールまたは電話、直接来館にて

■講師と演題

西岡 芳文 (神奈川県立金沢文庫)「富士山縁起の成立とかぐや姫」 菊池 邦彦 (東京都立産業技術高等専門学校)「富士山縁起の展開」 大高 康正 (静岡県世界遺産センター整備課)「富士山東泉院とかぐや姫」 中村 羊一郎 (静岡産業大学)「静岡県内のかぐや姫と天女伝説」



展示室3 富士山とかぐや姫 イメージ図



ភくしょり 六所家総合調査事業の紹介

『聖教』・『書画』報告書の刊行

六所家旧蔵資料は、富士市今泉に存在した寺院・東泉院と、その最後の住持・蘂雄から始まる六所家のものからなりたっている約4万点にもおよぶ資料群です。

六所家総合調査事業は、この資料群や六所邸の跡地等の調査を歴史、書画、民俗、埋蔵文化財、建造物・庭園、聖教の分野に分け、専門の調査委員の指導のもと総合的に行っています。

今までの成果として、展示会の開催や、報告書等の 刊行を行ってきました。今年3月には、『聖教』と『書 画』の報告書を刊行しました。

『聖教』分野では、約2,000点の資料目録と調査で明らかになったことを掲載しています。「聖教」とは、経典の注釈書や、寺院での仏事修法など儀礼の次第作法を記録したもののことです。

東泉院には、聖教の秘法や作法を伝授した証として 授与される「八十通印信」や、密教の秘法を伝授する 儀礼の際に本尊とされた「神道灌頂本尊図」等が残さ れています。

『書画』分野では、約1,700点の資料目録と残された資料群の特徴や個別資料の解説を載せています。代表的なものとして、江戸幕府5代将軍・徳川綱吉筆「張果老図」や、霊元天皇筆の和歌書「四方の海」等があります。これらの資料から、東泉院と徳川将軍家や天皇家との関係をうかがうことができます。

今後も随時、調査の成果を報告していきます。今年 度は、約5,000点の古文書目録を掲載した報告書『古 文書②』を刊行する予定です。 (井坂 武男)



八十通印信



富士市立博物館リニューアル構想の紹介(その4)

1階の施設と新園路

1階エントランスホール 博物館 1 階には、展示の見どころや年間スケジュールを紹介する液晶モニターを設置します。壁面の展示棚には博物館体験講座の紹介パネルや製作物、また施設利用団体が製作した作品を展示することで、市民の方々が博物館を自由に活用できることを PR します。

ミュージアムショップ 富士山や富士市に関連した オリジナル商品をそろえ、市民はもとより、市外・県 外・国外から富士山世界文化遺産を目的に訪れるツー リストを取り込むことをめざします。

ライブラリー 世界遺産センターや富士山周辺の構成資産や観光地、他の博物館施設等との連携を進めるため、児童書コーナー、ビデオブースのほか、富士山や富士市の歴史を学習するための図書をそろえます。

新園路 博物館が立地する広見公園内の指定文化財建造物は、県内一位の棟数を誇ります。平成26年度に新設した旧稲垣家住宅周辺からのびる低斜度の新園路に本館2階出入口を接続させることで、公園利用者のアクセスを向上させていきます。 (藤村翔)



1階エントランスホール イメージ図



屋外展示 (広見公園) の新園路図



展示会案内

■ 出張展示「富士かぐやモバイルミュージアム」 道の駅 富士川楽座(富士市岩淵 1488-1): H27.7/18(土) ~ 9/6(日)

富士市立中央図書館(富士市永田北町 3-7): H27.10/27(火)~11/15(日)

富士市文化会館ロゼシアター (富士市蓼原町 1750): H28.1/22 (金) $\sim 1/31$ (日)

ステーションプラザ FÜJI (富士市川成島 654-10 新富士駅): 《第 1 期》 H27.9/25 (金) ~ 10/4 (日)、《第 2 期/ 富士山の日関連イベント》 H28.2/19 (金) ~ 2/28 (日) 富士市教育プラザ (富士市八代町 1-1): H28.3/1 (火) ~ 3/31 (木)

※観覧無料。入場時間 $10:00 \sim 16:30$ (共通)、会場により前後に延長する場合があります。



各種イベント・体験講座案内

◆ 農家の食と年中行事

旧稲垣家住宅において、さまざまな年中行事を体験することで、富士山麓に生きてきた人々の暮らしを感じてみませんか? ※①~②の講座は既に終了いたしました

- ③ H27.8/23 (日) そばの種まきと茹で落花生作り
- ④ H27.9/13 (日) サトイモの収穫と月見団子作り
- ⑤ H27.10/25 (日) そばの収穫とかまど飯
- ⑥ H27.11/21 (土) そばの脱穀・製粉と干し芋作り
- ⑦ H27.11/22 (日) そばうち ※5~⑦は連続3回講座
- ⑧ H27.12/23 (水祝) もちつきと注連縄作り
- 9 H28.1/11 (月祝) 繭玉作りと小豆粥
- ⑩ H28.3/21 (月祝) 牡丹餅作り

※定員各回 15 名程度、原則 9:00 ~ 13:00。各回ご

とに申込み日をもうけます。申込み方法、日時等詳し くは「広報ふじ」をみるか、直接博物館へお問い合わ せください。

◆ 古代人のくらし~古代の知恵に学ぶ~

古代に生きた人々は何を作り、何を食べ、何を思ったのか。古代のくらしを体験することで、古代の知識を学ぼう!※①と③の内容は同じです

- ① H27.11/23 (月祝) 親子どきやき体験
- ② H27.11/29(日) 古代料理レストラン
- ③ H28.2/11 (木祝) 親子どきやき体験

※申込み開始日① 11/14(±)② 11/21(±)③ 2/6(±)いずれも 9:00~電話または直接来館

定員 ①③年少~小学生の親子 15組30名

②小学生以上一般 (小学生は保護者と参加) 先着 15 名

◆ チャレンジ!!陶芸&陶芸歳時器

「チャレンジ!!陶芸」は、偶数月の第2・4 土曜日 (12月は第1・3 土曜日)、「陶芸歳時器」は奇数月の第2 土曜日に開催しています。気軽に陶芸を楽しもう!

★博物館本館リニューアル工事のため、受付は歴史民 俗資料館窓口になります (歴史民俗資料館は通常通り 開館をしております)。各講座、イベントともに内容・日 時が変更する場合もあります。くわしくは、博物館ホーム ページやチラシ、広報ふじ等でご確認ください。



農家の食と年中行事②「七夕飾り作りとそうめん」(H27.7/4)

▲ 富士市立博物館だより No.66

発行年月日 平成 27 年 (2015) 8 月 15 日

編集·発行 富士市立博物館 Fuji Municipal Museum

住所 〒 417-0061 静岡県富士市伝法 66-2 TEL. 0545-21-3380 FAX. 0545-21-3398 HP. http://museum.city.fuji.shizuoka.jp/ E-mail. museum@div.city.fuji.shizuoka.jp 開館時間 (歷史民俗資料館) 4月~10月:9:00~17:00 11月~3月:9:00~16:30 入館料 無 料

休館日 月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌日、 $12/28 \sim 1/4$ (年末年始) ※本館は耐震リニューアル工事のため、平成 28 年 4 月末頃まで休館中

博物館屋外展示(ふるさと村) 休館日なし 見学無料

このリーフレットは、再生紙と植物油インクを使用しています。



